

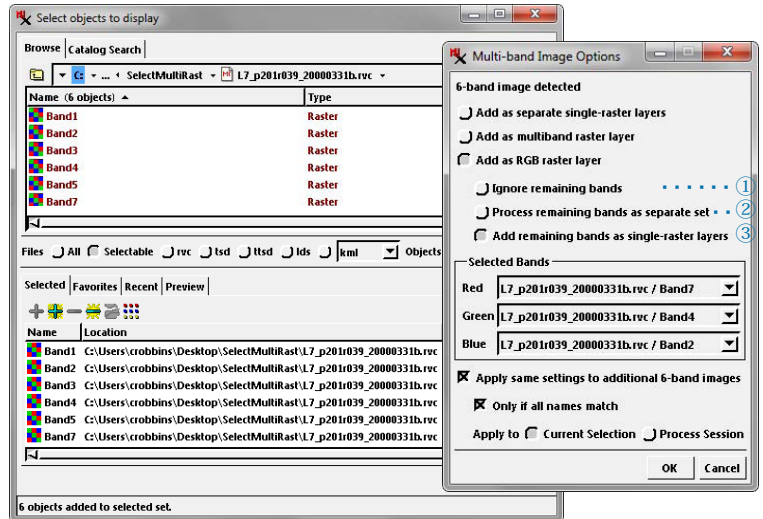
複数ラスタを個別 / マルチバンド / RGB レイヤとして 選択する

〈表示マネージャ〉または〈表示〉ウィンドウの [オブジェクトの追加 (Add Objects)] アイコンボタンを使って3つ以上の画像バンド (行と列の範囲が同じもの) を選択すると、それらのラスタを別々のラスタレイヤ、RGB レイヤ、あるいはマルチバンドレイヤ (RGB カラー表示用にバンドの割り当てを変更できるレイヤセット: 「空間データ表示: マルチバンド画像レイヤ (Spatial Display: Multi-band Image Layers)」と題されたテクニカルガイドをご覧ください) として追加するオプションが出ます。これらの選択肢は、追加後に開く〈マルチバンド画像オプション (Multi-Band Image Options)〉ウィンドウに示されます。レイヤタイプの選択肢は、ウィンドウの上部にある複数のラジオボタンを使って示されています (右図)。これら3つの選択肢の選択例を下の図に示します。

RGB やマルチバンドを選択した場合、[選択されたバンド (Selected Bands)] ボックスの赤・緑・青のメニューを使ってカラー表示用のバンドの割り当てをすることが出来ます。選択したバンド名に “Red”、“Green”、“Blue” を含む場合、それらはデフォルトの選択として該当する各カラー成分に設定されます。

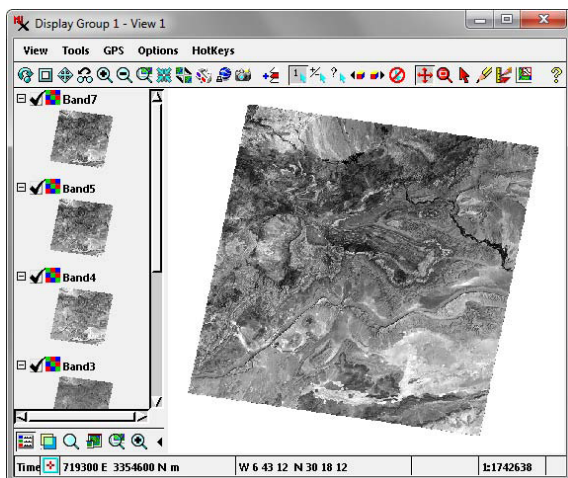
4 個以上のバンドを選び RGB レイヤオプションを選択した場合、カラー成分に割り当てなかった残りのバンドの扱い方を指定することができます。①残りのバンドを無視したり (表示しない)、②残りのバンドを別個のセットとして処理したり、③別々の単独レイヤとして追加、の3つから選ぶことができます。②のオプションを選択して [OK] ボタンを押すと、もう一度〈マルチバンド画像オプション〉ウィンドウが開いて、残りのバンドに対するカラーの割り当てや他のオプションを選ぶことが出来ます。

〈マルチバンド画像オプション〉ウィンドウの下の部分にある操作ボタンで、同じバンド数を持つ追加の画像に対して同じ設定を適用したり、この設定を全てのバンドの名前が一致する場合だけに制限することができます。さらにこれらの選択を、[適用 (Apply to)] の右のラジオボタンで現在の選択のみ (Current Selection) か、現在のセッションが終わるまで (Process Session) のどちらかに適用することができます。



[オブジェクトの追加] アイコンボタンを使って3つ以上のサイズが同じラスタオブジェクトを選択すると、〈マルチバンド画像オプション〉ウィンドウが現れ、ラスタの表示方法を選ぶことができます。

注意: 表示の優先設定を、[該当する名前を持つ3バンドラスタセットを RGB として自動追加する (Automatically add 3-band raster sets with corresponding names as RGB)] に設定することができます。このオプションは、〈表示マネージャ〉ウィンドウの [オプション (Option)] > [表示ウィンドウオプション (View Option)] から開く〈オプション〉ウィンドウの [ラスタ (Raster)] パネルで設定できます。この設定により、[オブジェクトの追加] アイコンを使ってちょうど3つの同じ範囲の画像バンドを選択した場合、〈マルチバンド画像オプション〉ダイアログを飛ばして進みます。



別々の単一ラスタレイヤとして追加 (Add as separate single-raster layers) した例。



マルチバンドラスタレイヤとして追加 (Add as multiband raster layer) した例。選択したバンドのうち任意の3つを使用。カラー表示は変更可能。



RGB ラスタレイヤとして追加 (Add as RGB raster layer) した例。指定した3バンドを使用。カラー表示固定。